

# 将監中学校区防災教育だより

令和4年2月22日発行

将監中学校区小中学校防災推進部

2011年3月11日に発生した東日本大震災から11年を迎えようとしています。世界的な新型コロナウイルス感染症の流行、豪雨による災害等、改めて児童生徒の安全について意識を高めていかなければいけないところです。そのような中、今年度は、昨年度、新型コロナウイルス感染症予防のために中止した4校合同での「引き渡し訓練」を行いました。この小中合同の訓練は、災害時に地域として児童生徒の安全を確実に守るという意識付けと実際の方法を理解するために有意義な取組です。また、「災害時に自分の命を守る力（災害対応力）」を身に付けるために、避難訓練等も各校で工夫を凝らしながら実施しました。

今後、東日本大震災の経験や記憶がない児童生徒がますます増加することから、地域の児童生徒への防災教育の必要性が高まっています。この「将監中学校区防災教育だより」を御覧いただき、各家庭において防災について、お子様と話題にしていいただければ幸いです。

## 将監中学校

4月に地震対応、10月に火災対応の避難訓練を実施しました。地震対応では、避難時の密を避けるために教室でシェイクアウト訓練（机下への避難）のみ実施しました。火災対応では、出火場所を確認した後で使用できない避難経路を放送し、より実際の場面に近い状況での避難を行いました。

防災学習として、1年生がクロスロードゲーム、2年生がHUGを行いました。「クロスロード」(Crossroad)とは、「歧路」,「分かれ道」のことで、そこから転じて、重要な決断、判断のしどころを意味します。

例えば、「あなたは避難所運営担当者です。避難所には600人の避難者がいます。今ある食料は全員分には足りませんが食料を配りますか？」という課題について考えます。各自の災害時の判断に対する意見を交換しあうことを通して、災害時への対応に対する意識を高めます。HUGは、ひなんじょうんえいゲームの頭文字です。状況が書かれたカードを引き、グループで、校舎のどこに避難させたらよいか考えます。皆が安心して気持ちよく過ごせる運営、すばやく的確な運営を目指し、避難所運営を疑似体験しながら、意見交換をしていく学習です。



## 将監中央小学校

4年生では、総合的な学習の時間に防災をテーマにして、様々な災害や災害から身を守る方法などについて学習を行いました。子供たちは地震や津波だけでなく、火山の噴火や落雷、台風の被害について関心を持ち詳しく調べていました。最後に一人一人がスライドにまとめて発表しました。12月には「震災遺構旧荒浜小学校」に見学に行き、実際の被害の様子を見ることができました。当初は9月の見学を予定していたのですが、緊急事態宣言が出されたこともあり12月に延期しました。当日は、震災があった日と同じような空模様だったので、寒さの中で避難

を待った当時の状況を少し実感できたのではないかと思います。また、校舎の被害の様子を目の当たりにしたり、津波の高さと同じ高さで作られた慰霊碑を見たりして、子供たちは地震や津波の恐ろしさを感じていました。震災当時はまだ生まれていない学年ですが、学習を通して命の尊さを感じることができたのではないかと思います。



裏面には「将監西小」「桂小」の報告が載っています。

## 将監西小学校

将監西小学校では、5年生が「総合的な学習の時間」に防災について学習しています。

「命を守れる人になりたい。」これは、震災遺構の荒浜小学校を見学してきた児童の言葉です。5年生は12月2日に震災遺構を見学してきました。震災から今年で11年。5年生は震災の年に生まれた子供たちも多くいます。実際に記憶にはなくても、当時の様子の説明を聞き、被災した校舎などを見学して、災害の恐さを感じ取っていました。そして、防災に対する意識も高まったようです。これから自分たちにできることとして、防災バッグの準備や避難所の確認など、日頃からの心掛けを大切にしたいと話していました。また、周りの人と協力して乗り越えることができたという話を聞き、「助け合うことの大切さ」を学びました。

防災学習のまとめとして、地震や津波の他に、土砂災害や洪水、台風、雷などの自然災害についても調べています。実際の災害に生かせるように、“どのように行動したら良いのか”を考え、判断する力を付けさせたいと思います。



## 桂小学校

桂小学校では、今年度から「桂防災の日」を設定しています。地域の防災体制に目を向けたり、災害時に役立つ知識を深めたりしながら、安全、防災への意識を高めることをねらいとしています。今年度は実現できませんでしたが、感染症が落ち着いたなら、地域の町内会と合同で訓練などを実施する予定で考えています。

9月22日に、まずは全校放送で東日本大震災が起きたときの桂の様子や防災学習の意義について確認しました。その後は、各学級で防災についての学習を担任と一緒に進めました。

5年生は、「総合的な学習の時間」のテーマに「防災」を設定し、1年間を通して学習を進めています。今回は東日本大震災が起きたときの「情報」に注目しました。仙台市街の様子を写真で見て、震災当時はたくさんの不確かな情報が錯綜していたことに気付く子供たち。冷静に考え、正しい情報を選択していくことの大切さを学びました。今年度から始まったこの「桂防災の日」の取組を継続し、6年間を通して子供たちが防災意識を積み重ねていけるように、今後も学校全体で防災教育に向き合っていきたいと考えています。

